

第25回里山講演会

近年、気候変動による海水温度の上昇や水蒸気量の増大により、全国各地で毎年降雨災害が頻発し、洪水だけでなく土砂災害を含め、人命被害が増大しています。

これまでに数百年に一度の雨量に対応するため、河川内で洪水を安全に流す事を前提に整備が進められてきました。しかし、想定最大クラスの洪水の頻発により整備レベルを超え、被害が継続して発生しています。

特に鬼怒川水害以降、水防災意識社会の再構築として、避難が叫ばれ、自然災害は予想を上回るもので、簡単に避けられないものとの考え方が普及されてきました。異常気温や異常降雨などまさに千変万化の様相となっており、これから水害対応について今後学習を深めたいと思っています。差し当たって最も身近なところから淀川河川事務所さんの出前講座として下記の演題でお話をいただくことになりました。このチャンスに大いに学びましょう、皆様方のご参加をお待ちしています。ご質問時間もたっぷりございますので、大いに語り合えればと思っています。

日時	9月6日(日) 開場13:00 閉会16:30
場所	京田辺市社会福祉センター 3階 大ホール エレベーターあり
講師	国土交通省近畿整備局淀川河川事務所 専門官
演題	「最近の出水と淀川河川事務所の動き」 近年の災害の状況から
出席規模	100人 コロナウイルス感染予防のため 100人とします。
出席希望者	当日先着順で定員に達した場合入場制限となります ご了解ください 加費 無料



主催 特定非営利活動法人 やましろ里山の会
京田辺市田辺深田15 電話 0774-64-4183 (F兼)
支援 国交省近畿地方整備局淀川河川事務所